現場説明書（技術的事項）

工事名　福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

○ 該当する　　● 該当しない

2. 別途工事

なし

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

①工事期間中は、周辺地域、児童、職員及び第三者の安全に細心の注意を払い、危険のないよう対策を講じてください。構内管理については学校管理者との協議・調整を十分に行ってください。

②工事中は学校運営と同時進行となるため、仮囲い等を設置し、事故のないよう十分注意してください。

③工事車両の出入り口と児童・学校関係者の出入り口が重複するため、大型車両等の出入りには必要に応じて交通誘導員を配置し、安全管理に努めてください。

④工事関係車両の駐車場については、学校管理者と協議を行い、安全に配慮した駐車計画を立ててください。

⑤墜落災害防止のため、墜落制止用器具等の設置場所は作業範囲をカバーし、移動中も常に安全を確保できるように計画してください。

⑥実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに、速やかに施工計画書等の承諾を受けてください。

⑦本工事請負人は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

⑧ケレン作業により音の発生する作業や、ウレタン防水等のにおいの発生する作業は学校管理者と事前協議の上、児童・職員に配慮して行なってください。

⑨ケレン作業やウレタン防水等の粉塵が発生する作業は、飛散防止措置を講じてください。強風が想定される場合は、作業を中断するか実施しないでください。

⑩この工事は、建設リサイクル法の対象工事には該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

⑪当該建物の入口等の通路は、ベニア（落下養生）等で囲い安全通路の確保をしてください。

福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事

図　面　リ　ス　ト	
図面番号	図　　名
1	図面リスト
2	防水・外壁改修工事特記仕様書（１）
3	防水・外壁改修工事特記仕様書（２）
4	外壁改修工事特記仕様書No.1
5	外壁改修工事特記仕様書No.2
6	附近見取図・配置図
7	Ｒ階平面図
8	屋根伏図
9	立面図
10	断面図・詳細図
11	断面詳細図
12	建具配置図・建具表
13	建具表２

A2：100%
A3：71%

工 事 名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課	図面ＮＯ.
図面名称	図面リスト	2026年8月	主務 課員 / 次長 課長補佐 / 施設課長 部長	1

福山市建築改修工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要
1．工事場所　広島県福山市木之庄町四丁目１番１号
2．延べ面積　図示による。
3．工事種目
（１）　屋内運動場　屋根他改修　一式
（２）
（３）
（４）
（５）
（６）
（７）
（８）
（９）
4．工事範囲
※「３．工事種目」全てを工事範囲とする。
・「３．工事種目」のうち＿＿＿＿の全てを工事範囲とする。
○「３．工事種目」のうち（1）の工事範囲は次表のとおりとする。
ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
② 仮設工事	(1)
③ 防水改修工事	(1)
④ 外壁改修工事	(1)
5 建具改修工事	
6 内装改修工事	
⑦ 塗装改修工事	(1)
8 屏figure改修工事	
⑨ 環境配慮改修工事	(1)

Ⅱ 建築改修工事仕様
1．図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○ 建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という。）
○ 建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部
2．電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図による。
3．特記仕様書の適用は次による。
（1）項目は、○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の［　．　］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Ⅲ 福山市建築改修工事仕様
本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1．官公署の手続き
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。)

2．施工中の安全確保
本工事は、交通誘導員として　　人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。

3．監理（主任）技術者
現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4．別契約の関連工事との調整等
・ 施工範囲は「工事区分表」又は別紙図面の記載による。
・ 別契約の関連工事発注者が足場などを使用する場合は無償とする。
・ 別契約の関連工事発注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5．施工管理
※ 施工体制台帳の写しを提出する。

6．施工図及び施工計画書
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

7．保証書
次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材名	保証年限	備　考
○ 防水工事	○ 塗膜防水	10 年	
○ 防水工事	○ 合成高分子ルーフィング防水	**10 年**	

8．
引渡し後、次の点検を行う。（○印のついたものを適用する。）
・ 引渡し後点検（第１次点検）　引渡しの概ね１年後
・ 引渡し後点検（第２次点検）　引渡しの概ね２年後

章	項　目	特記事項
① 各章共通事項	○ 一般事項	適用基準 図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。 ○ 営繕工事写真撮影要領（令和5年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部 ○ 建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 ・
	○ 工事実績情報システム（コリンズ）への登録	登録　［1．1．4］ ○ する　・
	○ 書面の書式及び取扱い	情報共有システムの適用及び機能要件　［1．1．5］ 本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事である。 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)及び「情報共有システム利用手引（建築工事）」によるものとする。 ・ 発注者指定型 共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。 受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることでシステムを利用しないことができる。 ○ 受注者希望型(契約時の請負金額が５００万円以上のものに限る) 工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。 本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を申し出て、本システムを利用するものとする。 その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。
	・ 遠隔臨場の実施	遠隔臨場の適用及び実施内容　［1．1．14］ ・ 適用する 実施内容（　・　現場説明書による　・　）
	○ 実施工程表	概成工期　［1．2．1］ ・ 有り（　・　現場説明書による　・　）　○ 無し
	○ 工事の記録等	報告に用いる書式等　［1．2．4］ ・ 現場説明書による　・ ○ 改修標準仕様書１．２．４（４）により整備する工事写真については次による 「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編　令和５年版」 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
		○ 着手前・工事中写真 撮影仕様　（　※　Ｌ判程度（カラー）　） 提出仕様　（　※　Ａ４判印刷、若しくはＡ４判写真帳　） 提出部数　（　※　１部　）
	・ 電気保安技術者	配置　［1．3．3］ ・ する　・
	○ 施工条件	・ 施工順序　［1．3．5］ （　） ・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所 （　） ○ 改修標準仕様書１．３．５（１）から（３）まで以外の施工条件 ○ 現場説明書による　・ ○ 作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。 ○ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 ・ 週休二日適用工事（　・　現場説明書による　）
	○ 発生材の処理等	処理等　［1．3．12］ ・ 発注者に引渡しを要するもの ・ 現場説明書による　・ ・ 特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法 ・ 現場説明書による　・ ・ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの ・ 現場説明書による ・ ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理 （　・　製造業者へ処分委託　・　管理型最終処分場で処理） ・ 石綿含有せっこうボード、Ｕ字・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理 （　・　管理型最終処分場で処理　・　再資源化） ・ PCB含有シーリング材の分析調査（　・　行う　・　） ・ PCB含有シーリング材の撤去（　・　行う　・　） ・ 特別管理産業廃棄物の分析調査（　・　行う　・　） ※ 建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　(財）日本建設情報総合センター 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議する。

	施工計画時	工事完了時
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。
なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

	○ 石綿含有建材の調査	調査　［1．5．1］ ※ 石綿含有建材の事前調査　・ 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 調査範囲 ○ 図示による　・ 資与資料 ○ 分析による石綿含有建材の調査　・ 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 資料採取箇所 ・ 「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の１．７．11による ・ 図示による
	・ 施工数量調査	４章　外壁のひび割れ部、欠損部、浮き部の調査　［1．6．2］［1．6．3］ 調査範囲 ・ 外壁改修範囲　　調査報告書の部数（　・　１部　・　）

章	項　目	特記事項
	○ 技術士	技術士においては、積極的な活用を図ること。 技術検定の職種及び作業の種別は次表による。　［1．7．2］

適用工事種別	職　種	技術検定の作業の種別
仮設工事	とび	○ とび作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ○ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート一工法防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	・ 鋼製下地工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
塗装工事	塗装	○ 建築塗装作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	○ 樹脂接着剤注入作業

	○ 技術検査	中間技術検査　［1．8．2］ ○ 実施回数（　１　）回 ・ 実施する段階（　） ※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知
	○ 完成時の提出図書	提出図書 ※ 改修標準仕様書１．９．２及び１．９．３による ・
	○ 完成図	種類、記入内容等　［1．9．2］［表1．9．1］ ※ 改修標準仕様書　表１．９．１による 提出部数（　１　）部 提出仕様（ ○ 紙ベース　○ 電子データ（情報共有システムの場合等）　・　・ ） ※ 竣工図 速やかに次の図書を提出する （　※　完成図　・　施工図　） ・Ａ３判を２つ折りにして製本　部 ・　部 ※電子データ提出　一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。） ・ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督職員の指示による。
	○ 完成写真	工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影箇所　（　外景４面　、　各室４面　） 撮影仕様　（　形　式：　※　電子データ　JPEG フルカラー　・　） 画質等：　○ 外景　4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの ・ 各室　1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質 ・　） 提出仕様　（　※　電子データ　・　アルバム（Ａ４判程度）　１部　○ 写真帳　１部　） 検査後１４日以内に提出する。 電子データ形式等は、監督職員の指示による。
② 仮設工事	○ 足場等	仮囲い等（ガードフェンス・カラーコーン等）　［2．2．1］［表2．2．1］ ○ 設置する（設置範囲　○ 工事に必要な範囲　・　） ・ 設置しない
	○ 既存部分の養生	養生方法等　［2．3．1］ ○ 既存部分 養生方法（　※　ビニルシート、合板等　・　） ○ 既存家具、既存設備等 養生方法（　※　ビニルシート等　・　） 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
	○ 監督職員事務所等	監督職員事務所等　［2．4．1］ 建物　・　設置する　○ 設置しない
	○ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できない　○ 利用できる（　・　有償　○ 無償　）
	○ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できない　○ 利用できる（　・　有償　○ 無償　）
③ 防水改修工事	○ 降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3．1．3(5)(ｱ)～(ｳ)による。　［3．1．3］
	○ 既存防水の処理	既存保護層の撤去　・行う（範囲　※ 図示　・　）　○ 行わない［3．1．4］［3．2．3、4、6］ 既存防水層の撤去　○ 行う（範囲　※ 図示　・　）　・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　（　・ MAAS　・ MAASI　・ M4C　・ M4DI　・ L4X）
	○ 既存下地の処置	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　※ 図示。図示が無いものは監督職員と協議する。　［3．2．6］ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理　※ 図示。図示が無いものは監督職員と協議する。 合成高分子系ルーフィングシート防水又は塗膜防水を行う場合、出隅は通りよく 45° の面取りとし、入隅は通りよく直角とする。
	・ 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種別　［3．5．2～4］［表3．5．1～3］

工法	種別	高日射反射率防水	備考		
○ S4S	○ S-F2	・適用する	脱気装置	○ 設ける	・設けない
	○ S-M2	・適用する	改修用ドレン	○ 設ける	・設けない
・ S3S	・ S-F1	・適用する	脱気装置	・設ける	・設けない
	・ S-F2	・適用する			

Ｓ－Ｆ１、Ｓ－Ｍ１、Ｓ－Ｆ２、Ｓ－Ｍ２の仕様
※ 非歩行用　・ 軽歩行用
Ｓ－Ｆ２の立上り及び平場部の工法
※ 接着工法（立ち上がり及び平場面のシートの厚さ　※ 1.5mm　・2.0mm　）

章	項　目	特記事項
	○ 塗膜防水	防水層の種別 新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種別　［3．6．2］［3．6．3］

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・ PDX	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		・ 主材料の製造所の仕様 ・	※ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
○ L4X	・ X-1 ※ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		○ 主材料の製造所の仕様 ・	※ 主材料の製造所の仕様 ・	○ 適用する	脱気装置 ○ 設ける ・ 設けない
・ 超速硬化ウレタン防水	・ X-1H ・ X-2H		※２成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ふっ素樹脂系	※ 主材料の製造所の仕様 ・	○ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない

※超速硬化ウレタン防水部下地は新規下地で、全面鋲ケレン(RB種)、高圧水洗浄(15Mpa以下)を行う。
ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※　主材料の製造所の仕様
・
設置数量　※　主材料の製造所の仕様
・（　　個）

	○ シーリング	シーリング改修工法の種類　［3．7．2～3、3．7．7］ ○ シーリング充填工法　・ シーリング再充填工法　・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り　・ 適用する　・ 適用しない エッジング材張り　・ 適用する　・ 適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表３．７．1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
点検用通路部	PU-2
サッシ部等	MS-2（ﾉﾝﾌﾞﾘｰﾄﾞ）

仕上げを行わない施工箇所
○ 図示による　・ 打継目地
シーリング材の目地寸法　○既存合わせ
接着性試験　※ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験

4-① 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁改修	・ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法　［4．1．4］［4．2．5～7］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※ 200～300 ・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70
	0.5以上～1.0 未満	・ 150～250	・ 130

コア抜取り検査　・ 行う　※ 行わない　　補修方法（ポリマーセメントモルタル充填）
注入材料
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂（ＪＩＳ　Ａ６０２４）による（※ 低粘度形　・　中粘度形）
・ 軟質形エポキシ樹脂の中粘度型又は低粘度型

・ Ｕカットシール材充填工法
カット部充填材
※ 可とう性エポキシ樹脂　○変性シリコーン系（ノンブリード）
・シーリング用材料　（※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・ 表３．７．１による）
・ シール工法
ひび割れ部シール材
※ パテ状エポキシ樹脂　・ 可とう性エポキシ樹脂

	・ 欠損部改修工法	・ 充填工法　［4．1．4］［4．1．4、7］ ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・

4-② 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁改修	・ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法　［4．1．4］［4．3．5～8］

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※ 200～300 ・	・ 130 ・
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・ 50～100	・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・ 100～200	・ 70
	0.5以上～1.0 未満	・ 150～250	・ 130

○ Ｕカットシール材充填工法
カット部充填材
※ 可とう性エポキシ樹脂　・変性シリコーン系（ノンブリード）
・シーリング用材料　（※１成分形又は２成分形ポリウレタン系　・ 表３．７．１による）
○ シール工法
ひび割れ部シール材
※ パテ状エポキシ樹脂　・ 可とう性エポキシ樹脂

	・ 欠損部改修工法	・ 充填工法　［4．1．4］［4．3．5］［4．3．9、10］ ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調合材料 （セメントは改修特記仕様書８．２　コンクリート工事による） ・ 既調合材料（　） 既製目地材 ・ 使用する（形状　・　図示による　・　） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※　図示による　・ 監督員との協議による。

	福山市教育委員会事務局管理部施設課	工事名称	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事	図面No
	設計 2026年8月	図面名称	防水・外壁改修工事特記仕様書（１）	2

4-㉒ 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁改修

・ 浮き部改修工法 ［4.1.4］［4.3.5］［4.3.11、16］

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本/㎡） 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本/㎡） 指定部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 一般部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 指定部	注入量（mL/箇所）
・ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	―	―	※ 25 ・
・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25 ・
・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	―	―	※ 25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25 ・
・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50 ・
・ 充填工法	―	―	―	―	―
・ モルタル塗替え工法	―	―	―	―	―

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼（SUS304）呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径６mm程度
注入工法用材料
・ ポリマーセメントスラリー

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2)
3以上	3以上	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55　　粘調係数　0.50～1.00
充填工法用材料
・ エポキシ樹脂モルタル　　⊙ ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
・ 現場調合材料　（セメントは改修特記仕様書８.２ コンクリート工事による）
・ 既調合材料（　　）
既製目地材　・ 使用する（形状 ・ 図示による ・ 　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置
※ 図示による　⊙ 監督員との協議による。

⊙ 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整 ［4.5.4］

工法	処理範囲	下地の補修
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	・ ひび割部改修工法 ・ 浮き部改修工法 ・ 欠損部改修工法
⊙ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による	
・ 水洗い工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・ 図示による	

⊙ 下地調整塗材 ※ 下地調整塗材
・ ポリマーセメントモルタル

⊙ 仕上塗材仕上げ 新規仕上塗材の種類 ［4.1.5］［4.5.2］
⊙ 薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	防火材料
※外装薄塗材E	※砂壁状	※吹付け	・
・			・

⊙ 複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
※複層塗材E	※ゆず肌状 ・凹凸状 ・凸部処理	※吹付け ・ローラー	樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・ つやなし 溶媒 ※ 水系 ・	・ ※ 耐候形３種	・
・	・	・	・	・	・

⑦ 塗装改修工事

⊙ 材料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ［7.1.3］
※ F☆☆☆☆ ・
防火材料
※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

⊙ 下地調整
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ［7.2.1］
※ 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・ ［7.2.3～7.2.7］

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※ RB種 ・	―
鉄鋼面	※ RB種 ・	―
亜鉛めっき鋼面	※ RB種 ・	―
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※ RB種 ・	―
モルタル、プラスター面	※ RB種 ・	⊙ 行う ・ 行わない
コンクリート面（DP以外）、ALCパネル面	※ RB種 ・	⊙ 行う ・ 行わない
押出成形セメント板面、コンクリート面（DP）	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種 ・	―

・ 素地ごしらえ ［7.3.2～7.3.7］

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種
	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種
鉄鋼面（DP以外）		※ C種 ・ A種 ・ B種
鉄鋼面（DP）		※ B種 ・ A種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種
モルタル面及びプラスター面		※ B種 ・ A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※ B種 ・ A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		※ B種 ・ A種
せっこうボード面及びその他ボード面		※ B種 ・ A種

⊙ 錆止め塗料塗り 錆止め塗料塗りの種別 ［7.4.2～7.4.3］

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP（工程の種別は表７.４.３）	塗替え	As種	※ C種 ・
		新規見え掛り	As種	※ A種 ・
		新規見え隠れ	As種	※ B種 ・
	EP-G（工程の種別は表７.４.３）	塗替え	※ Bs種 ・ As種	※ C種 ・
		新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種	※ A種 ・
		新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種	※ B種 ・
	DP（工程の種別は表７.４.４）	塗替え	７.４.２(１)(イ)(b) による。	⊙ B種（下地調整RB種） ・ C種（下地調整RC種）
		新規	７.４.２(１)(イ)(a) による。	・ A種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表７.４.５）	塗替え 鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種	※ C種 ・
		塗替え その他	※ Bz種 ・	※ B種 ・
		新規 鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種	※ A種 ・
		新規 その他	※ Bz種 ・	※ B種 ・
	EP-G（工程の種別は表７.４.５）	塗替え	Cz種 ・	※ C種 ・
		新規 鋼製建具等	Cz種 ・	※ A種 ・
		新規 その他	Cz種 ・	※ B種 ・
	DP（工程の種別は表７.４.６）	塗替え	Bz種 ・	―
		新規	Bz種 ・	―

⊙ 塗装 ［7.5.2～7.13.2］

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※ １種 ・ ２種	木部屋外	※ B種 ・	※ A種 ・
	木部屋内	※ B種 ・	※ B種 ・
	鉄鋼面	※ B種 ・	※ B種 ・ A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※ A種 ・	※ B種 ・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※ B種 ・	※ B種 ・
・ クリヤラッカー塗り(CL)		※ B種 ・ A種 （着色塗料の種類： ）	※ B種 ・ A種 （着色塗料の種類： ）
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
⊙ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ １ ）級	・	―
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	―
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-1種 ・ ・ B-1種 ・ ・ C-1種 ・
・ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種
	屋内の木部	※ B種 ・	※ A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・	・ A種 ・ B種
	屋内の亜鉛めっき面	※ B種 ・	※ A種 ・ B種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※ B種 ・	・ A種 ・ B種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※ B種 ・	※ B種 ・ A種
・ ピグメントステイン塗り			
・ 木材保護塗料塗り(WP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書表７.９.１の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書表７.10.１の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
クリヤラッカー塗りＡ種の工程２の適用
・ 適用しない
・ 適用する（着色剤：　・　溶剤系着色剤　・　油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用
・ 適用する
・ 適用しない

⑯ 環境配慮改修工事

⊙ 石綿含有建材の除去工事
⊙ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ［9.1.1、3～6］
⊙ 図示による ・

・ 石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第２種を含む）
除去対象範囲　※ 図示
除去工法　※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置　※ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有成形板等けい酸カルシウム板第１種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲　※図示
隔離養生（負圧不要）方法 ・図示
足場 ・図示
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第１種の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む）
除去対象範囲　※図示
養生　⊙ 行う ・行わない

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
⊙ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

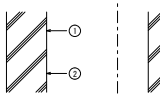
⊙ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去工法
※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第６条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・ 集じん装置併用手工具ケレン工法
・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15ＭＰａ以下、30～50ＭＰａ程度）
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100ＭＰａ以上）
・ 超音波ケレン工法（ＨＥＰＡフィルター付き掃除機併用）
・ 剥離剤併用手工具ケレン工法
・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100ＭＰａ以上）
・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50ＭＰａ程度）
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法
⊙ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 （湿式）
除去対象範囲　※ 図示
作業場の隔離　※ 行わない ・ 行う
試験施工　※ 行わない ・ 行う
養生方法　⊙養生シート等
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場） ⊙ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分
※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による ・
確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)の(ア)、(ウ)、(カ)及び(ケ)による

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示 ・

福山市教育委員会事務局管理部施設課	工事名称	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事	図面No
設計 2026年8月	図面名称	防水・外壁改修工事特記仕様書（２）	3

名称：A 表面劣化部処理

記号・仕様：A－1 打放し面表面劣化部処理［サンダー工法］

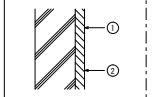


工程

①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ★部分）
②水洗い（15Mpa程度）
③セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

設計数量： 0.0 ㎡

記号・仕様：A－2 モルタル面表面劣化部処理［サンダー工法］



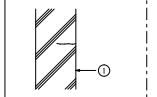
工程

①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ★部分）
②水洗い（15Mpa程度）
③セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

設計数量： 0.0 ㎡

名称：B ひび割れ部処理

記号・仕様：B－1 打放し面樹脂注入工法［4.2.5］ ひび割れ幅 0．2～1．0mm



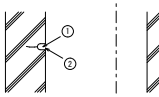
工程

①サンダーケレン
②ひび割れ部シール
③エポキシ樹脂注入
④セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－1工法を行う場合は、①、④の工程はA－1工法に含む。

設計数量：ひび割れ幅 0．2～0．5mm （ 0.0 ）m
ひび割れ幅 0．5～1．0mm （ 0.0 ）m
（ ）内は挙動ひび割れ数量を示す

記号・仕様：B－2 打放し面Uカットシール材充てん工法［4.2.6］ ひび割れ幅 1．0mm超



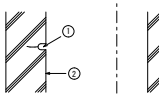
工程

①ひび割れ部Uカット
②水洗い（15Mpa程度）
③シーリング材打設
④Uカット部埋戻し （ポリマーセメントモルタル）
⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－1工法に含む。

設計数量： 0.0 m

記号・仕様：B－3 打放し面Uカットシール材充てん工法［4.2.6］ ひび割れ幅 0．2～1．0mm



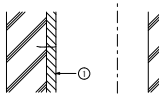
工程

①ひび割れ部Uカット
②水洗い（15Mpa程度）
③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂
④セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－1工法を行う場合は、②、④の工程はA－1工法に含む。

設計数量： 0.0 m

記号・仕様：B－4 モルタル面樹脂注入工法［4.3.6］ ひび割れ幅 0．2～1．0mm



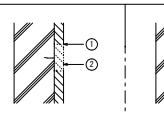
工程

①サンダーケレン
②ひび割れ部シール
③エポキシ樹脂注入
④セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－2工法を行う場合は、①、④の工程はA－2工法に含む。

設計数量：ひび割れ幅 0．2～0．5mm （ 0.0 ）m
ひび割れ幅 0．5～1．0mm （ 0.0 ）m
（ ）内は挙動ひび割れ数量を示す

記号・仕様：B－5 モルタル面躯体部樹脂注入工法［4.3.6］ ひび割れ幅 0．2～1．0mm



工程

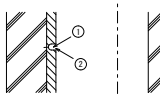
①ひび割れ周囲モルタルカッター切り
②モルタル除去
③ひび割れ部シール
④エポキシ樹脂注入
⑤埋戻し
⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－2工法を行う場合は、⑥の工程はA－2工法に含む。

設計数量： 0.0 m

名称：B ひび割れ部処理

記号・仕様：B－6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1．0mm超



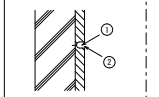
工程

①ひび割れ部Uカット
②水洗い（15Mpa程度）
③シーリング材打設
④Uカット部埋戻し （ポリマーセメントモルタル）
⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－2工法に含む。

設計数量： 7.6 m

記号・仕様：B－7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0．2～1．0mm



工程

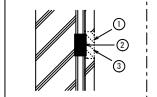
①ひび割れ部Uカット
②水洗い（15Mpa程度）
③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂
④セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－2工法を行う場合は、②、④の工程はA－2工法に含む。

設計数量： 0.0 m

名称：C 鋼鉄筋部処理

記号・仕様：C－1 打放し面鋼鉄筋部処理



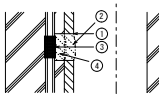
工程

①鋼鉄筋周辺のはつり
②錆落とし
③水洗い（15Mpa程度）
④防錆処理
⑤はつり部埋戻し整形
⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA－2工法に含む。

設計数量： 0.0 m

記号・仕様：C－2 モルタル面鋼鉄筋部処理



工程

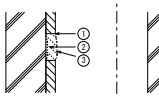
①カッター縁切り
②浮き部はつり
③錆落とし
④水洗い（15Mpa程度）
⑤防錆処理
⑥はつり部埋戻し整形
⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

※A－2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA－2工法に含む。

設計数量： 0.0 m

名称：D 浮き部処理

記号・仕様：D－1 モルタル面はつり



工程

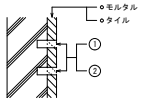
①カッター縁切り
②浮き部はつり
③水洗い（15Mpa程度）
④はつり部埋戻し整形
⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）

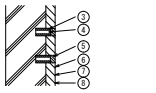
※A－2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA－2工法に含む。

設計数量： 3.2 ㎡

名称：D 浮き部処理

記号・仕様：D－2 モルタル面アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法［4.3.11］
D－2’ タイル面アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法［4.4.9］



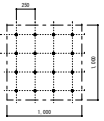


工程

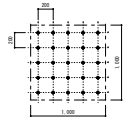
①穿孔	一般部	16	ケ所	⑤穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	16	ケ所
	指定部	25	ケ所		指定部	25	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	16	ケ所	⑥サンダーケレン			
	指定部	25	ケ所	⑦水洗い（15Mpa程度）			
③エポキシ樹脂注入	一般部	16	ケ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）			
	指定部	25	ケ所				
④ステンレスピン挿入	一般部	16	ケ所	※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。			
	指定部	25	ケ所	※D－2’工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。			

設計数量：①一般部分：【モルタル面】 5.1 ㎡ 【タイル面】 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

①一般部分標準グリッド（２５０×２５０）
（指定部以外の部分）



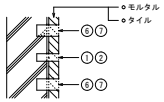
②指定部分標準グリッド（２００×２００）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）

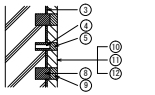


③峡幅部
（幅２００mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）

● アンカーピン固定部

記号・仕様：D－3 モルタル面アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法［4.3.12］
D－3’ タイル面アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法［4.4.10］



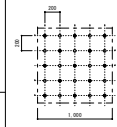


工程

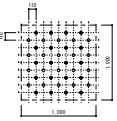
①ピン固定部穿孔	一般部	13	ケ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
②孔内ｴｱｰ清掃	一般部	13	ケ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
③ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入	一般部	13	ケ所	⑧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
④ｽﾃﾝﾚｽﾋﾟﾝ挿入	一般部	13	ケ所	⑨穿孔跡埋戻し［ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ］	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
⑤穿孔跡埋戻し［ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ］	一般部	13	ケ所	⑩ｻﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ			
	指定部	20	ケ所	⑪水洗い（15Mpa程度）			
				⑫ｾﾒﾝﾄ系下地調整材ｺﾃ塗り（1．5mm±0．5mm）			
※D－3’工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程は含まない。				※A－2工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む。			

設計数量：①一般部分： 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

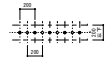
①一般部分標準グリッド（２００×２００）
（指定部以外の部分）



②指定部分標準グリッド（１１０×１１０）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



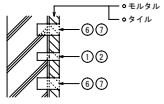
③峡幅部
（幅２００mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）

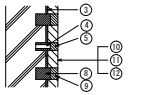


● アンカーピン固定部
● 注入口

名称：D 浮き部処理

記号・仕様：D－4 モルタル面アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法［4.3.13］
D－4’ タイル面アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法［4.4.11］



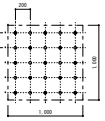


工程

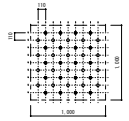
①ピン固定部穿孔	一般部	13	ケ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	13	ケ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
③ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入	一般部	13	ケ所	⑧ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
④ｽﾃﾝﾚｽﾋﾟﾝ挿入	一般部	13	ケ所	⑨穿孔跡埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ］	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
⑤穿孔跡埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ］	一般部	13	ケ所	⑩ｻﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ			
	指定部	20	ケ所	⑪水洗い（15Mpa程度）			
				⑫ｾﾒﾝﾄ系下地調整材ｺﾃ塗り（1．5mm±0．5mm）			
※D－4’工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程は含まない。				※A－2工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む。			

設計数量：①一般部分： 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

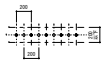
①一般部分標準グリッド（２００×２００）
（指定部以外の部分）



②指定部分標準グリッド（１１０×１１０）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）

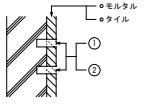


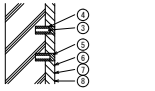
③峡幅部
（幅２００mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）



● アンカーピン固定部
● 注入口

記号・仕様：D－5 モルタル面注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法［4.3.14］
D－5’ タイル面注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法［4.4.12］



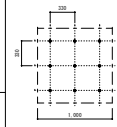


工程

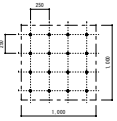
①穿孔	一般部	9	ケ所	⑤穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	9	ケ所
	指定部	16	ケ所		指定部	16	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	9	ケ所	⑥サンダーケレン			
	指定部	16	ケ所	⑦水洗い（15Mpa程度）			
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9	ケ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1．5mm±0．5mm）			
	指定部	16	ケ所				
④エポキシ樹脂注入	一般部	9	ケ所	※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。			
	指定部	16	ケ所	※D－5’工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。			

設計数量：①一般部分： 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

①一般部分標準グリッド（３３０×３３０）
（指定部以外の部分）



②指定部分標準グリッド（２５０×２５０）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



③峡幅部
（幅２００mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）

● 注入口付アンカーピン固定部

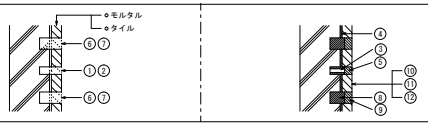
設計	2026年8月	工事名称	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事	図面No. 4
		図面名称	外壁改修工事特記仕様書No.1	縮尺 Non Scale
	福山市教育委員会事務局管理部施設課			

名称　D　浮き部処理

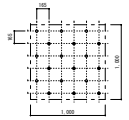
記号・仕様

D－6　モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法　［4．3．15］
D－6’　タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法　［4．4．13］

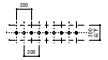
改修前・改修後



①一般部分標準グリッド（１６５×１６５）
（指定部以外の部分）

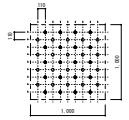


③峡幅部
（幅２００㎜以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）



●注入口付アンカーピン固定部
○注入口

②指定部分標準グリッド（１２５×１２５）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



工　程

①ピン固定部穿孔	一般部	9 ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
②孔内エアー清掃	一般部	9 ヶ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9 ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
④エポキシ樹脂注入	一般部	9 ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
⑤穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	9 ヶ所	⑩サンダーケレン		
	指定部	16 ヶ所	⑪水洗い（15Mpa程度）		
			⑫セメント系下地調整材コテ塗り（１．５㎜±０．５㎜）		

※D－6’工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。

※A－2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む

設計数量：①一般部分：　0.0 ㎡
②指定部分：　0.0 ㎡
③峡幅部　：　0.0 m

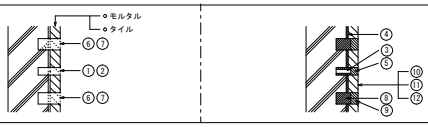
名称　D　浮き部処理

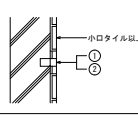
記号・仕様

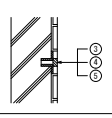
D－7　モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法　［4．3．16］
D－7’　タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法　［4．4．14］
※標準グリッド等は、D－6、D－6’と同じ

D－8　タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小口タイル以上）　［4．4．15］

改修前・改修後







工　程

①ピン固定部穿孔	一般部	9 ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
②孔内エアー清掃	一般部	9 ヶ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9 ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9 ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ］	一般部	9 ヶ所
	指定部	16 ヶ所		指定部	16 ヶ所
⑤穿孔跡埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ］	一般部	9 ヶ所	⑩サンダーケレン		
	指定部	16 ヶ所	⑪水洗い（15Mpa程度）		
			⑫セメント系下地調整材コテ塗り（１．５㎜±０．５㎜）		

※D－7’工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。

※A－2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む

設計数量：①一般部分：　0.0 ㎡
②指定部分：　0.0 ㎡
③峡幅部　：　0.0 m

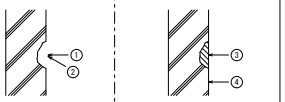
①穿孔
②孔内エアー清掃
③ステンレスピン（注入口付）挿入
④エポキシ樹脂注入
⑤穿孔跡埋戻し［化粧キャップもしくは調色樹脂パテ］

設計数量：　0.0 ㎡

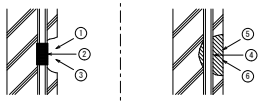
名称　E　欠損部処理

記号・仕様

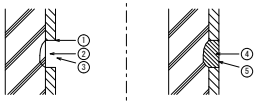
E－1　打放し面充填工法　［4．2．8］



E－2　打放し面欠損部処理　［4．2．3］



E－3　モルタル面欠損部処理　［4．3．3］



改修前・改修後

工　程

①欠損部はつり等での整形
②水洗い（15Mpa程度）
③欠損はつり部埋戻し［※ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ］
④セメント系下地調整材コテ塗り（１．５㎜±０．５㎜）

※A－1工法を行う場合、②、④の工程はA－1工法に含む

校舎設計数量：　0.0 ㎡
渡り廊下設計数量：　0.0 ㎡

①欠損部・鋼鉄筋周辺はつり等での整形
②鋼落とし
③水洗い（15Mpa程度）
④防錆処理
⑤欠損はつり部埋戻し［※ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ］
⑥セメント系下地調整材コテ塗り（１．５㎜±０．５㎜）

※A－1工法を行う場合、③、⑥の工程はA－1工法に含む

設計数量：　0.0 ㎡

①カッター縁切り（C－3）
②欠損部はつり等での整形
③水洗い（15Mpa程度）
④欠損はつり部埋戻し［※ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ］
⑤セメント系下地調整材コテ塗り（１．５㎜±０．５㎜）
（鉄筋の露出部がある場合はE－2による）

※A－2工法を行う場合、③、⑤の工程はA－2工法に含む

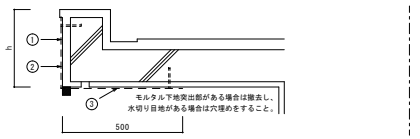
北入口上裏設計数量：　12 ㎡

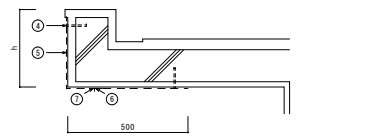
名称　F　外壁複合改修工法

記号・仕様

F　外壁複合改修工法

改修前・改修後





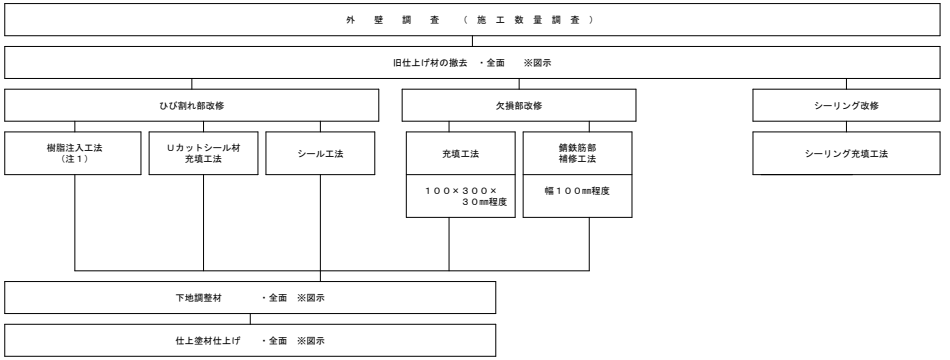
設計数量		
	ネット張り	12 ㎡
	水切	8.3 m

工　程

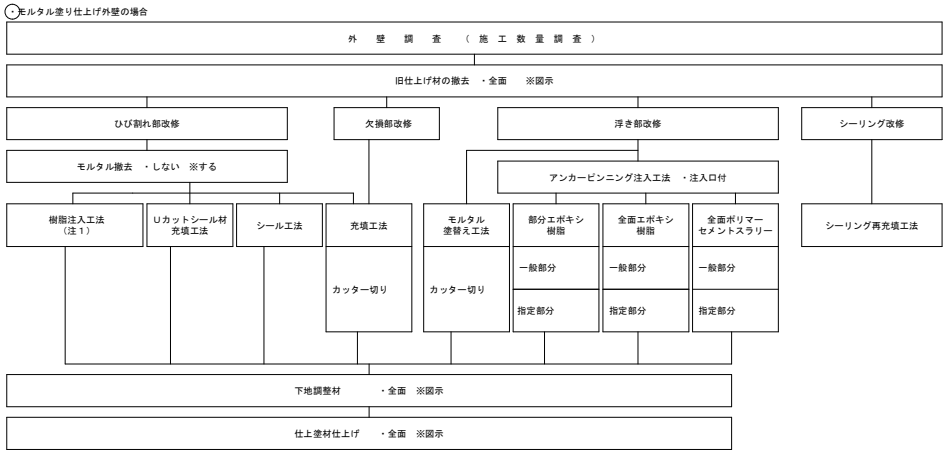
下地補修後
① プライマー下塗り
② ポリマーペースト中塗り
③ 三軸ネット張り
④ ワッシャー付アンカーピン打ち込み
⑤ ポリマーペースト中塗り
⑥ アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0　ステンレスビス止@450）
⑦ シーリング打設（MS-2）

外壁改修フロー図

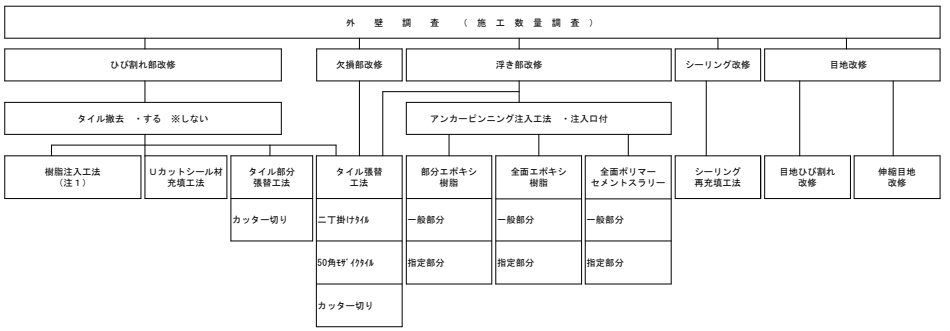
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



・モルタル塗り仕上げ外壁の場合

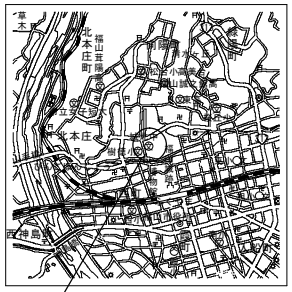


・タイル張り仕上げ外壁の場合



（注１）樹脂注入工法の工法の種類を示す

	設計	2026年8月	図面名称	外壁改修工事特記仕様書No.2
福山市教育委員会事務局管理部施設課	工事名称	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事	縮尺	Non Scale
			図面No	5



工事場所
福山市木之庄町四丁目1番1号

附近見取図

建築物の概要

名　称	城北中学校屋内運動場屋根他改修工事
新築工事の着工日	１９６４年４月１日
住　所	福山市木之庄町四丁目１番１号
耐　火	・耐火　・準耐火　○その他
構　造	・木造　・ＲＣ造　○S造　・その他
延べ面積	８７６．０㎡
階　数	地上　２階
解体の作業の対象となる床面積の合計	㎡

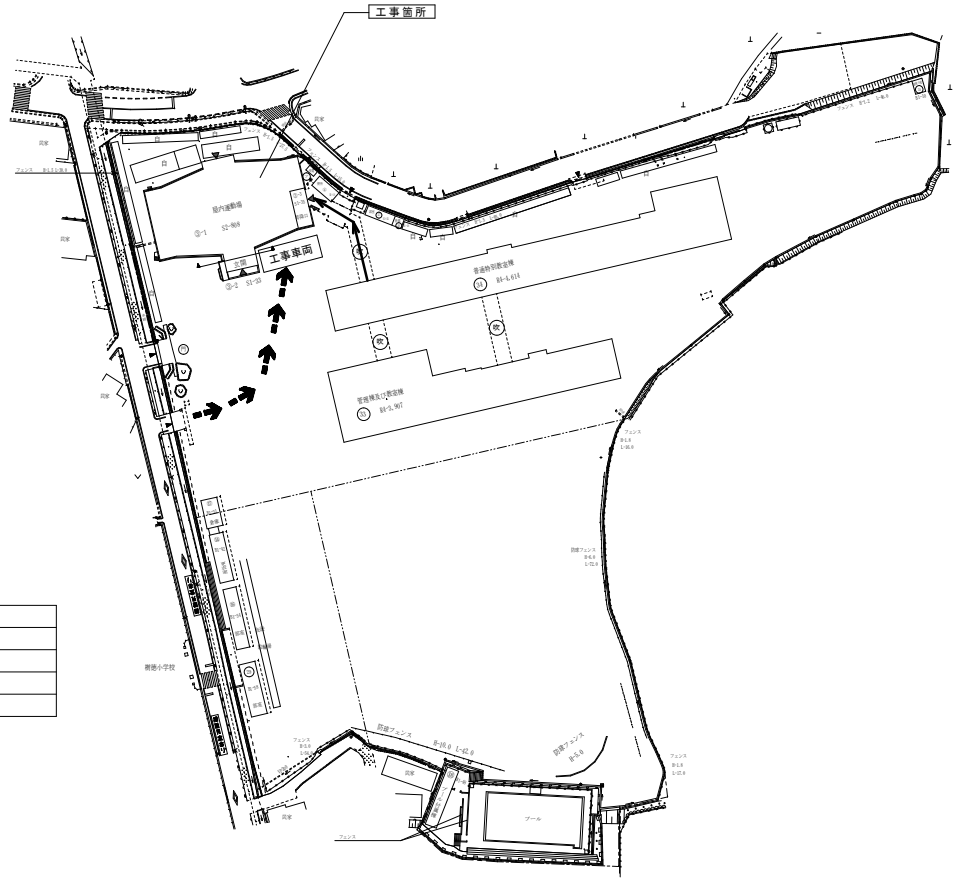
屋内運動場③－１　リシン（石綿含有あり）　シーリング（石綿含有なし）
屋内運動場③－２　リシン（石綿含有あり）　シーリング（石綿含有なし）
屋内運動場③－３　リシン（石綿含有あり）　複層（石綿含有なし）　シーリング（石綿含有なし）

仮設工事特記仕様書

① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は西出入口とする。
② 工事車両出入口：カラーコーン程度とし、通行時のみ開放する。（16m程度）
③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
（既設建物を傷めた場合には復旧する。）
⑤ 児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は重機、資材の搬入を避ける。
⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては
事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
⑩ 昇降用足場（先行足場、900枠等、階段共）には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
⑪ 児童及び第三者が、工事エリアに入れないように、１段目には金網を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
⑫ 足場解体後は、現状復旧すること。

仮設工事凡例

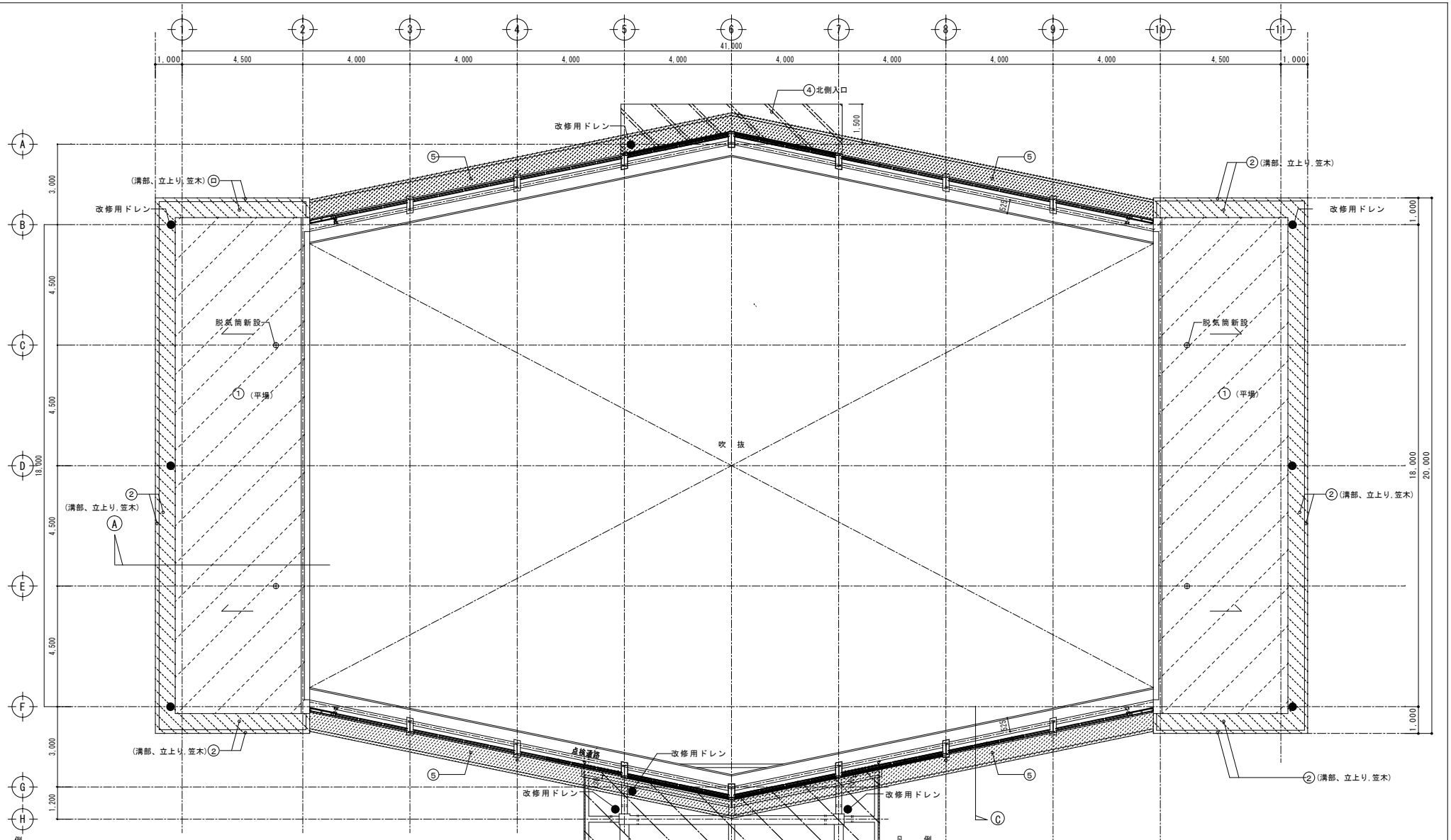
記　号	内　容
	工事建物
←	児童動線
▲	児童出入口（足場落下養生）
←	工事車両、作業員の動線



配置図　S=1/1000

A2：100%
A3：71%

工 事 名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課	図面ＮＯ．
図面名称	附近見取図・配置図	2026年8月	主務 / 課員 / 次長 / 課長補佐 / 施設課長 / 部長	6



凡 例

符号	仕 上	符号	仕 上
①	既　存：合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り （塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法） 改修内容：清掃、剥離浮き部処理の上、 合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り （塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法） 端部防水押え：立上り部ｱﾙﾐ押え10*30取付 ｼｰﾘﾝｸﾞ仕舞	②	既　存：合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り （塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系t=2.0 S-F2接着工法） 改修内容：ｼｰﾄ撤去（端部防水押え金物共）、 ｹﾚﾝ・清掃、下地処理（目地埋め含む）の上、 合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り （塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系t=1.5 S-F2接着工法） 端部防水押え：笠木部ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ45*65取付 ｼｰﾘﾝｸﾞ仕舞
⊕	4箇所：SUS脱気筒取付		
●	6箇所：改修用ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ取付		

凡 例

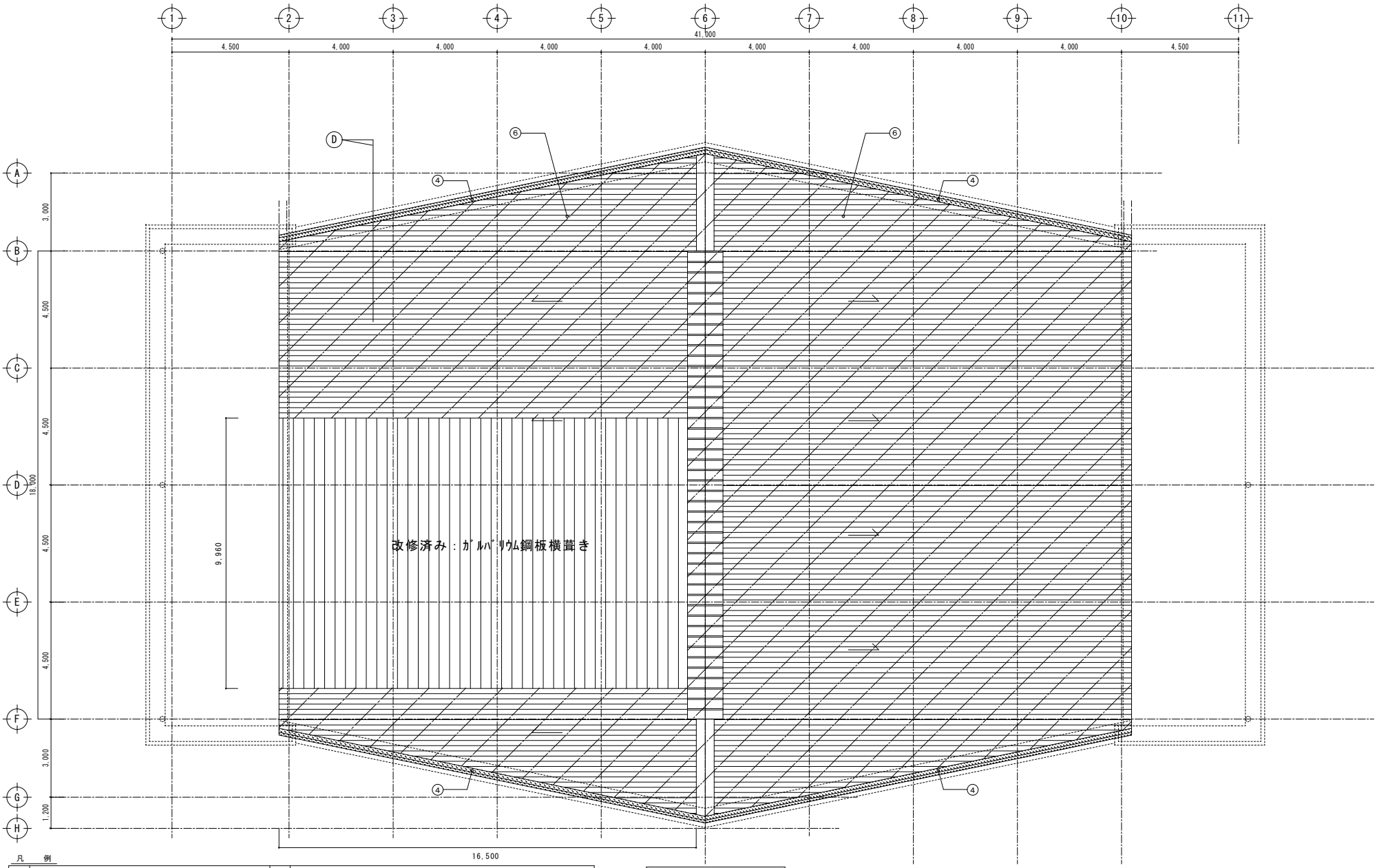
符号	仕 上	符号	仕 上
③	既　存：合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り **（塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系t=2.0 S-F2接着工法）** 改修内容：ｼｰﾄ撤去（端部防水押え金物共）、高圧水洗浄 下地処理（目地埋め・勾配調整含む）の上、 ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2工法） Exp.jｶﾊﾞｰ　一時撤去、復旧 端部防水押え：ｼｰﾘﾝｸﾞ仕舞	④	既　存：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2工法） 改修内容：ｹﾚﾝ・清掃、高圧水洗浄、 下地処理（目地埋め含む）の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2工法）
●	2箇所：改修用ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ取付	⑤	既　存：耐酸被覆鋼板 改修内容：ｹﾚﾝ・清掃、高圧水洗浄、 下地処理（目地埋め含む）の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2工法） 端部防水押え：ｼｰﾘﾝｸﾞ仕舞
		●	2箇所：改修用ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ取付

※施工時は安全対策用親網設置、墜落制止用器具を使用すること。
※下地処理については伸縮目地撤去の上、ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀｰにて下地補修とする。
※工事受注者は、工事完成時に防水保証書（10年間）を提出すること。

R階平面図　S=1/100

A2：100%
A3：71%

工 事 名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	R階平面図	2026年8月	図面NO. 7



凡　例

符号	仕　上	符号	仕　上
④	既　　存：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2工法） 改修内容：ｹﾚﾝ・清掃、高圧水洗浄、 下地処理（目地埋め含む）の上、ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-2工法）	⑥	既　　存：加硫ｺﾞﾑｼｰﾄ張り（t=1.2以上） 改修内容：高圧水洗浄、下地調整（下地処理・ｸﾗｯｸ処理）、ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理の上、 高日射反射率塗料塗布

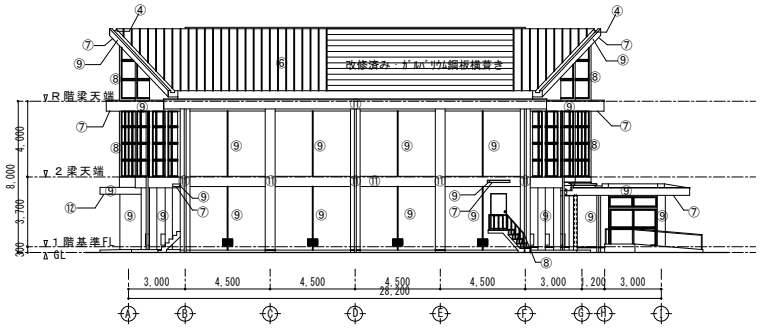
屋根伏図　S=1/100

A2：100%
A3：71%

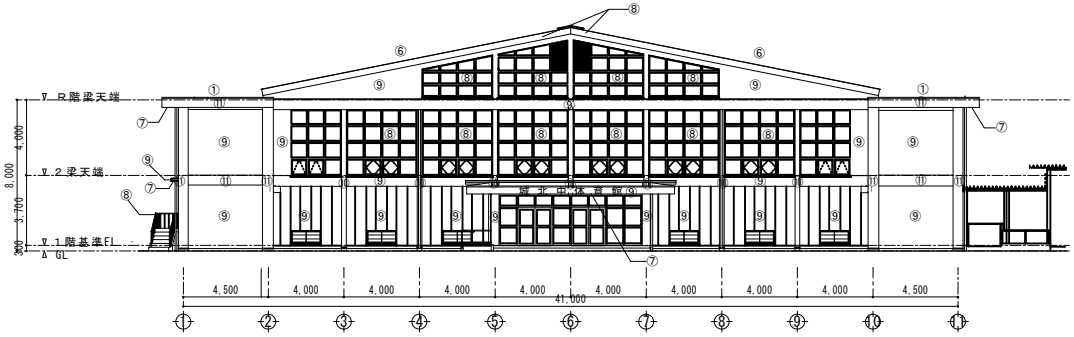
工事名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	屋根伏図	2025年8月	

図面NO.

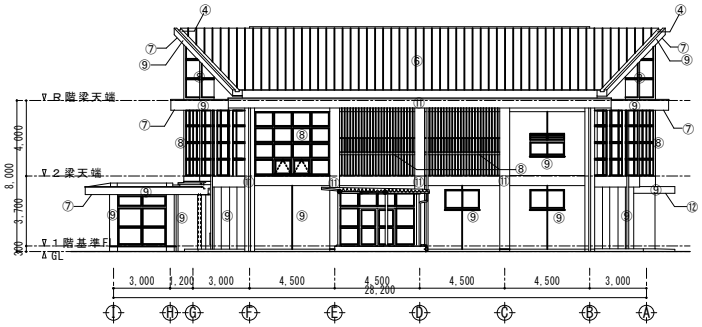
8



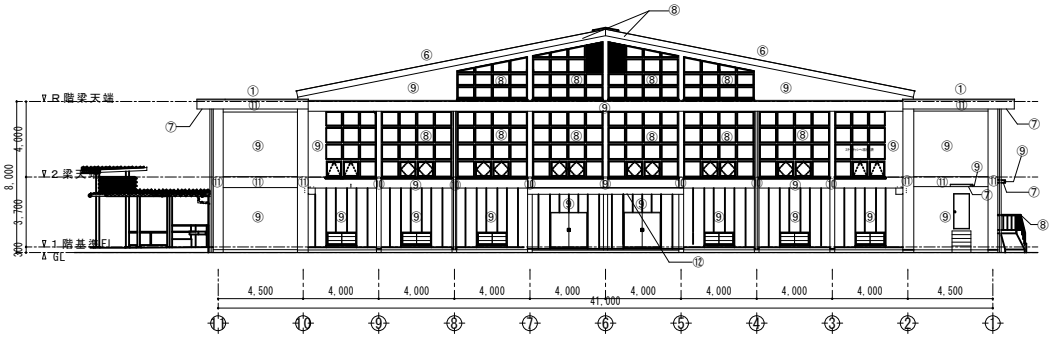
西立面図　S=1/200



南立面図　S=1/200



東立面図　S=1/200



北立面図　S=1/200

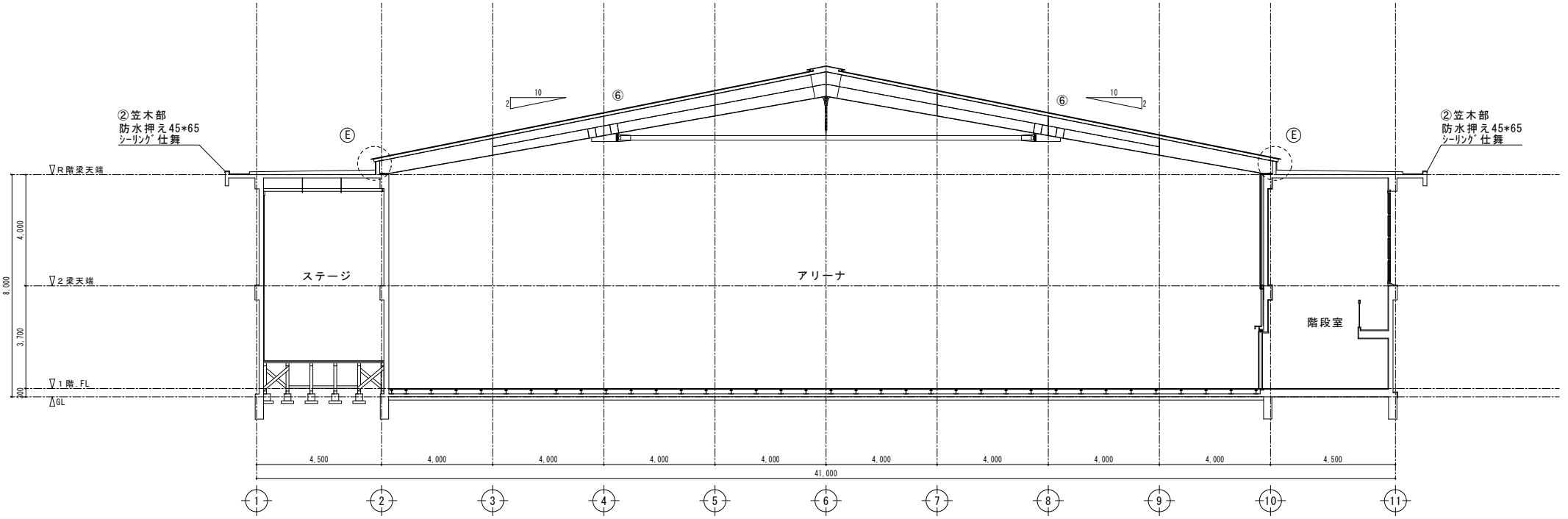
凡　例

符号	仕　上
⑦	既　　存：外装薄塗材E吹付 改修内容：既存下地調整の上、外装薄塗材E吹付
⑧	既　　存：SOP塗装 改修内容：既存下地調整の上、DP塗装
⑨	既　　存：外装薄塗材E吹付 改修内容：既存下地補修の上、複層塗材E
⑩	既　　存：ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き仕上げ 改修内容：既存下地補修の上、複層塗材E
⑪	既　　存：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 改修内容：既存下地補修の上、複層塗材E
⑫	既　　存：外装薄塗材E吹付 改修内容：E-3 ﾓﾙﾀﾙ面欠損部処理の上、F 外壁複合改修工法 ｱﾙﾐ水切り取付け L-30*15*2.0 ｽﾃﾝﾚｽﾋﾞｽ止@450

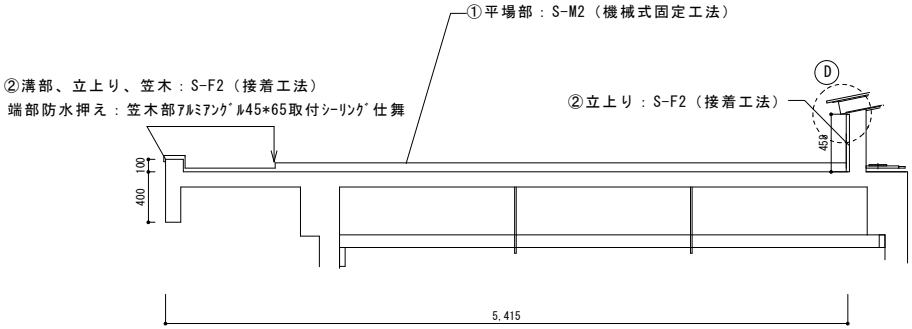
A2：100%
A3：71%

工 事 名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	立面図	2026年8月	

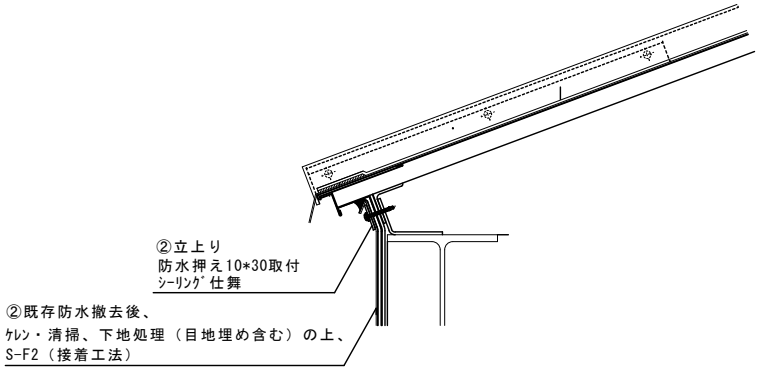
図面NO.
9



断面図　S=1/200



Ⓐ 断面図　S=1/30　※反対側も含め2箇所あり

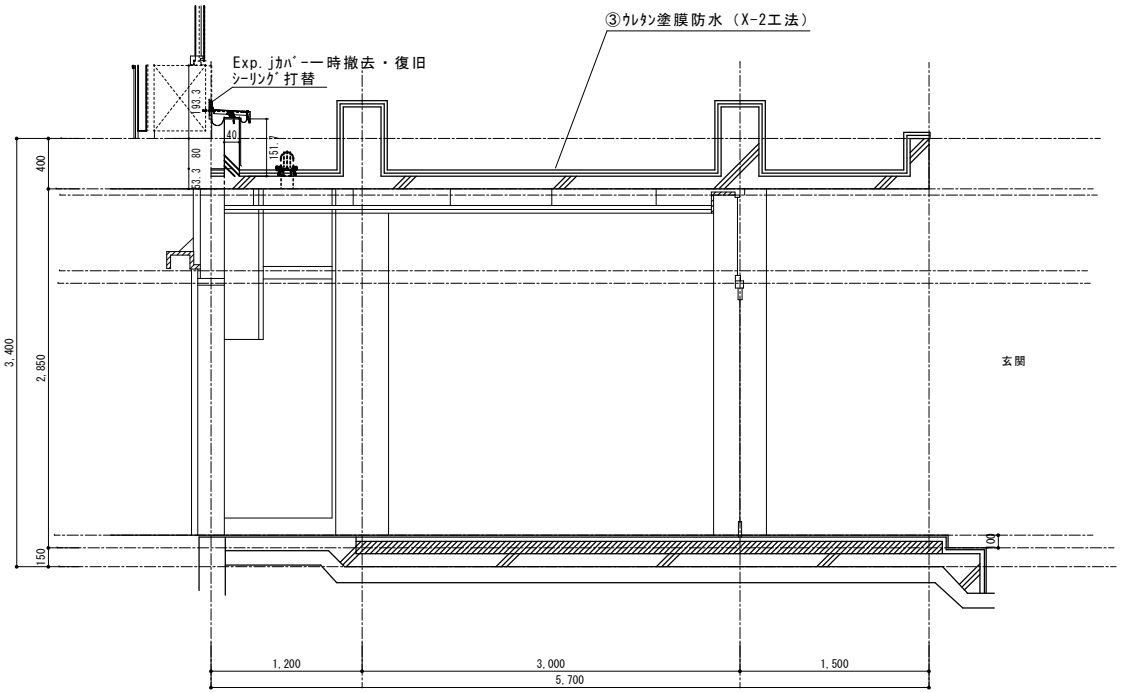


Ⓔ詳細図　S=1/10

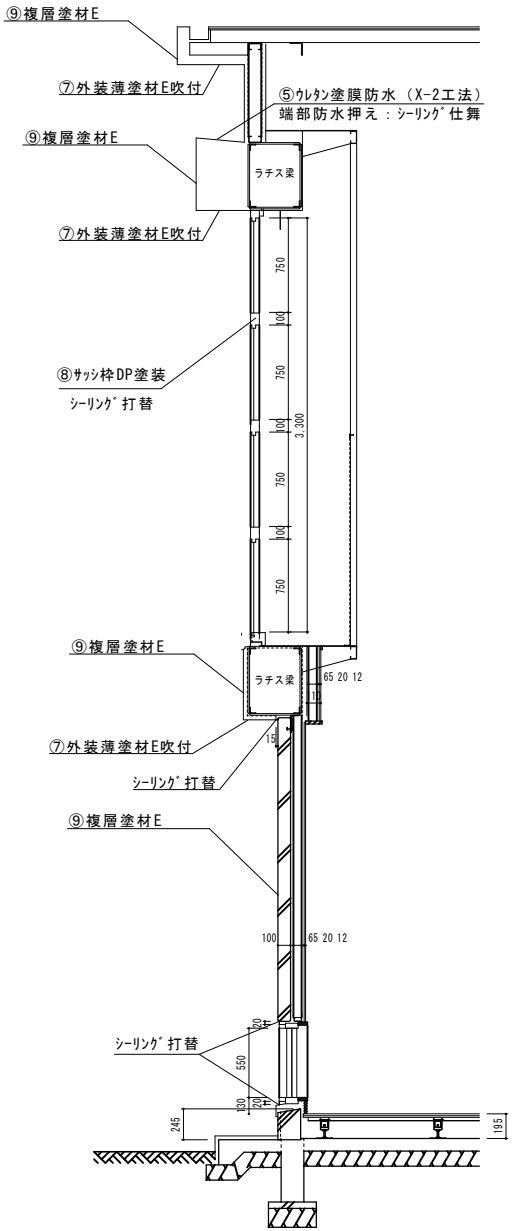
A2：100%
A3：71%

工事名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	断面図・詳細図	2026年8月	

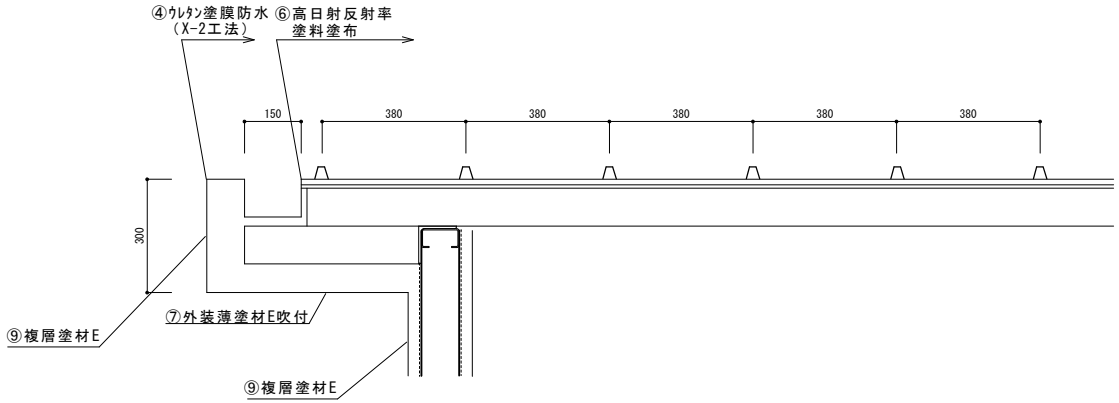
図面NO.
10



Ⓑ 断面図 S=1/30



Ⓒ 断面図 S=1/30

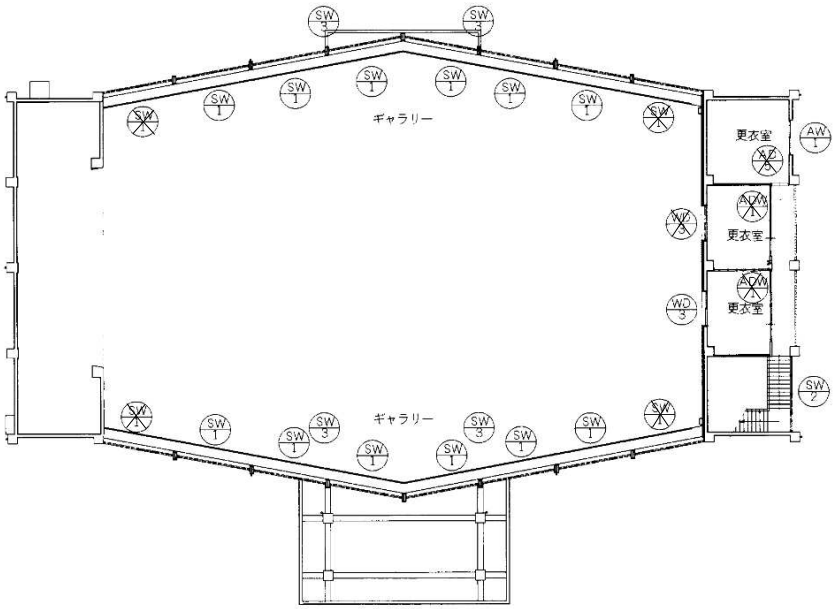


Ⓓ 断面図 S=1/10

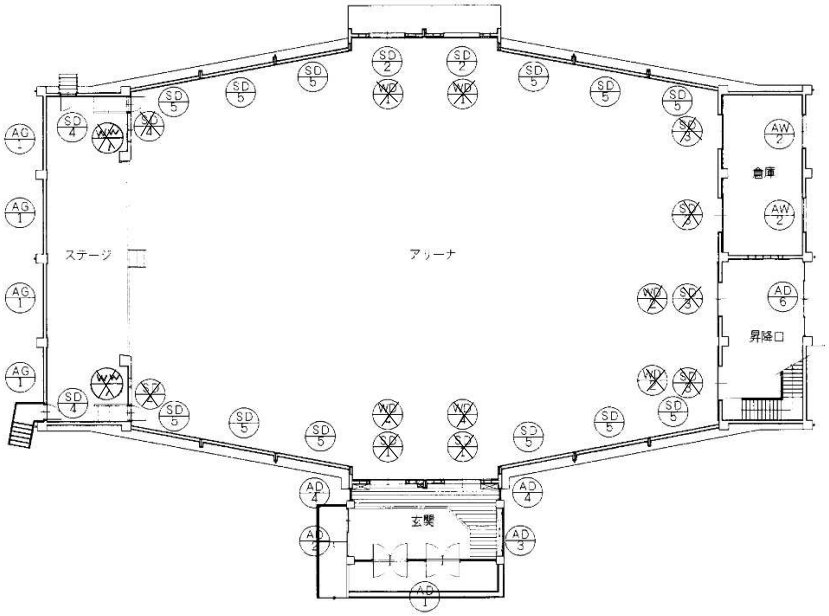
A2：100%
A3：71%

工事名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	断面詳細図	2026年8月	

図面NO.
11



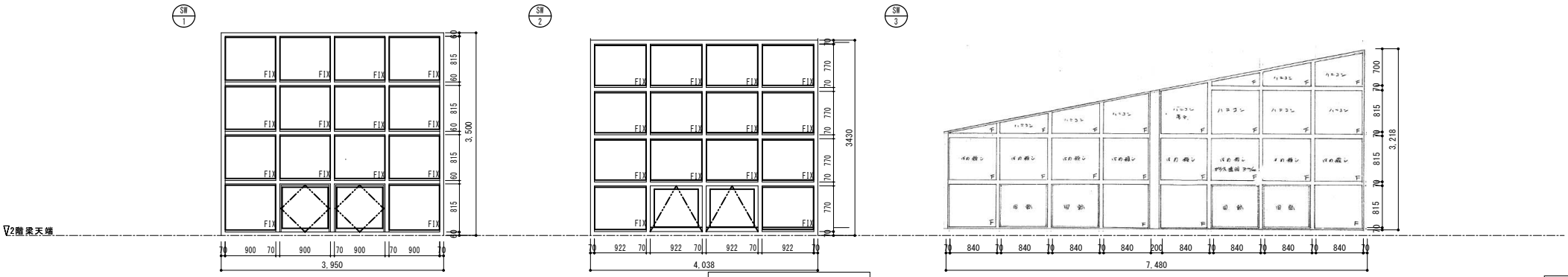
１階建具配置図 S=1/200



２階建具配置図 S=1/200

⑧ｻｯｼDP塗装範囲：SW-1・SW-2・SW-3

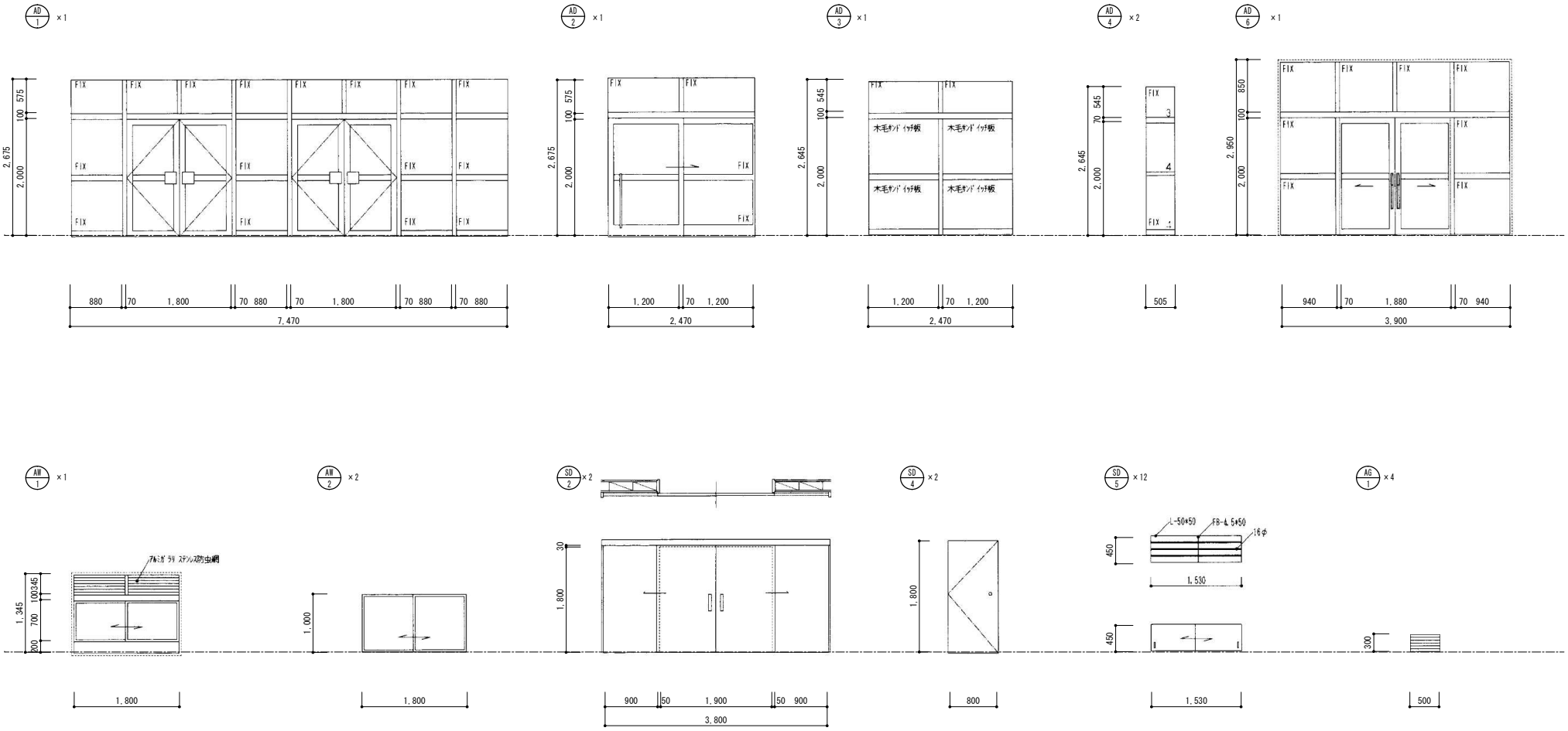
※建具ｼｰﾘﾝｸﾞ打替



建具表 S=1/50

A2：100%
A3：71%

工事名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事	福山市教育委員会事務局管理部施設課	図面NO.
図面名称	建具配置図・建具表	2026年8月	12



建具表2 S=1/50　※建具ｼｰﾘﾝｸﾞ打替

A2：100%
A3：71%

工 事 名	福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事		福山市教育委員会事務局管理部施設課
図面名称	建具表２	2026年8月	

図面ＮＯ．
13

参考数量書

§工事名称　　福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事

§工事場所　　福山市木之庄町四丁目１番１号

特記事項

1　この数量書は、福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　　（建築工事積算研究会制定）

設　計　書

工事名称　　福山市立城北中学校屋内運動場屋根他改修工事

工事場所　　福山市木之庄町四丁目１番１号

【工事概要】
屋根他改修・・・一式

福　山　市

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
直　接　工　事　費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直　接　工　事　費	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
屋根防水改修工事	1	式		
計				

福　山　市

屋根防水改修工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
仮　設	1	式		
撤　去	1	式		
防　水	1	式		
塗　装	1	式		
外　壁	1	式		
建設発生材等	1	式		
計				

屋根防水改修工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
仮　設	直接仮設	1	式		
計					
撤　去		1	式		
計					
防　水		1	式		
計					
塗　装		1	式		
計					
外　壁		1	式		
計					
建設発生材等	建設発生材	1	式		
計					

屋根防水改修工事	仮 設				直接仮設	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	1,320	㎡			
養生(外壁改修)		334	㎡			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・ｼｰﾄ)	1,320	㎡			
整理清掃後片付け (外壁改修)		334	㎡			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式) 20m未満	建地幅900 90日 掛払い手間 基本料 供用賃料 修理費 安全手摺 運搬費含む	1,994	㎡			
ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅰ類 掛払い手間、賃料 修理費 基本料 運搬費含む 90日	1,716	㎡			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共 90日 掛払い手間 基本料 供用賃料 修理費 運搬費含む	258	m			
児童通路養生 (落下防止)	合板張り養生 10㎡程度	3	箇所			
荷揚げ費	16t吊り ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 標準	1	式			
計						

屋根防水改修工事　　撤 去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
防水押えｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ (材工共)	L-45*65*1.5 ｼﾞｮｲﾝﾄ,ﾋﾞｽ含む ｼｰﾘﾝｸﾞ共	63	m			
防水押えｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ (材工共)	L-10*30*1.5 ｼﾞｮｲﾝﾄ,ﾋﾞｽ含む ｼｰﾘﾝｸﾞ共	63	m			
既存防水層撤去	合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り (S-F2、S-M2) 集積共	294	㎡			
除去石綿処理	床・壁養生 床：二重張り隔離ｼｰﾄt0.15 壁：一重張り隔離ｼｰﾄt0.08	1	式			
粉じん飛散抑制剤 吹付	材工共	12	㎡			
仕上げ塗材除去	集塵機付きﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法(湿式)	12	㎡			
除去石綿処理	密封処理	1	式			
計						

屋根防水改修工事　　防　水

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
大屋根	加硫ｺﾞﾑｼｰﾄ張り (t=1.2以上)					
高圧水洗浄	屋根　15Mpa以下	804	㎡			
ｹﾚﾝ・清掃	防水面 ｹﾚﾝ・清掃	1	式			
下地調整	下地処理・ｸﾗｯｸ処理	1	式			
ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗り	加硫ｺﾞﾑ系下地 (色塗り替え、補修)	804	㎡			
高日射反射率塗料	加硫ｺﾞﾑｼｰﾄ用	804	㎡			
R階屋根平場	合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り (S-M2)					
下地調整 (SM-2下地)	既存ｼｰﾄ防水 浮き・継ぎ目等剥離補修	1	式			
ｼｰﾄ防水 塩化ﾋﾞﾆﾙ系t1.5	S-M2 (機械的固定方法)	174	㎡			
SUS脱気筒	材工共	4	か所			
改修用ﾄﾞﾚﾝ φ75 ｼｰﾄ用	縦引き　ﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ含む	6	か所			
R階屋根立上り	合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ張り (S-F2)					
下地調整 (SF-2下地)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ　ｹﾚﾝ・清掃・ 出隅部面取含む	120	㎡			
ｼｰﾄ防水 塩化ﾋﾞﾆﾙ系t1.5	SF-2 (密着工法)	120	㎡			
防水押えｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ (材工共)	笠木部L-45*65*1.5 ｼﾞｮｲﾝﾄ、ﾋﾞｽ含む ｼｰﾘﾝｸﾞ共	63	m			
防水押えｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ (材工共)	立上りL-10*30*1.5 ｼﾞｮｲﾝﾄ、ﾋﾞｽ含む ｼｰﾘﾝｸﾞ共	63	m			
玄関屋根	ｼｰﾄ防水塩化ﾋﾞﾆﾙ系t1.5 (SM-2、SF-2)					
高圧水洗浄	屋根　15Mpa以下	96	㎡			
下地調整 (ｳﾚﾀﾝ防水下地)	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ　ｹﾚﾝ・清掃・ 出隅部面取含む	96	㎡			
ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2	平場	64	㎡			

屋根防水改修工事　　防　水

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2	立上り	32	㎡			
改修用ﾄﾞﾚﾝ φ75 ｳﾚﾀﾝ塗膜用	縦引き　ﾄﾞﾚﾝｷｬｯﾌﾟ含む	4	か所			
点検用通路、北入口、大屋根溝	ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2					
高圧水洗浄	屋根　15Mpa以下	126	㎡			
下地調整 （ｳﾚﾀﾝ防水下地）	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ　ｹﾚﾝ・清掃・ 出隅部面取含む	126	㎡			
ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2	平場	70	㎡			
ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水 X-2	立上り	56.1	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ仕舞	PU-2	64	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ打替	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10 撤去・集積共	589	m			
計						

屋根防水改修工事 塗 装

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外壁	外装薄塗材E部					
下地調整 改修仕様	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 RB種(塗替え面)	579	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	434	㎡			
複層塗材 E	ALCﾊﾟﾈﾙ面 ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	145	㎡			
外壁	ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き部					
下地調整 改修仕様	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 RB種(塗替え面)	38	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	38	㎡			
外壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し					
下地調整 改修仕様	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 RB種(塗替え面)	140	㎡			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	140	㎡			
玄関、北入口、北ｽﾃｰｼﾞ入口、西ｽﾃｰｼﾞ入口	上裏部					
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	49	㎡			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料As種(鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 現場2回塗り 下地別途(塗替え面)	49	㎡			
外装薄塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	49	㎡			
ｻｯｼ	SW-1					
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	44	㎡			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料As種(鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 現場2回塗り 下地別途(塗替え面)	44	㎡			
ＤＰ塗り	鉄鋼 1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	44	㎡			

屋根防水改修工事　　塗 装

名　称	摘　要	数 量	単位	単 価	金　額	備　考
ｻｯｼ	SW-2					
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	4	㎡			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料As種(鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 現場2回塗り 下地別途(塗替え面)	4	㎡			
ＤＰ塗り	鉄鋼　1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	4	㎡			
ｻｯｼ	SW-3					
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	25	㎡			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料As種(鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 現場2回塗り 下地別途(塗替え面)	25	㎡			
ＤＰ塗り	鉄鋼　1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	25	㎡			
外部階段手摺、外部2階手摺						
下地調整 改修仕様	鉄鋼面 RB種(塗替え面)	5.3	㎡			
錆止め塗料塗り 改修仕様	鉄鋼面(屋内外) 工程B種 塗料As種(鉛・ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 現場2回塗り 下地別途(塗替え面)	5.3	㎡			
ＤＰ塗り	鉄鋼　1級 素地ごしらえ及び下塗り別途	5.3	㎡			
計						